

2018年4月20日

インド特化型 VC ファンドとして日系企業単独運営では初 「DI インドデジタル投資組合」(子会社) 設立について ～ 日印のデジタルビジネス創出プラットフォームを目指す ～

株式会社ドリームインキュベータは、2018年4月20日開催の取締役会において、下記の通り、インドのテクノロジースタートアップへの投資を行う投資ファンド「DI インドデジタル投資組合」(以下本ファンド) を子会社として設立することを決議いたしました。

また、本ファンドにおける一次募集を15億円のコミットメント総額で完了し、同年4月より投資活動を開始することとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 背景・理由

最後にして最大の成長フロンティアであるインドでは、近年、スタートアップ生態系が急速に発達してきております(2012年～2016年のVC累計投資額200億ドル超¹⁾、テックスタートアップ企業数5,000社超²⁾、ユニコーン企業10社³⁾、米中の巨大IT企業大手⁴⁾が投資拡大中等)。

特に、スマホの急速な普及を背景に、リープフロッグ型(技術やビジネスが段階を飛び越えて一気に進展する変化の形態)の発展が、小売・流通、金融、メディア・エンタメ、医療、モビリティ等の分野で起こり、インドの経済社会は大きく変革され、グローバルで活躍する企業や経営者が多数輩出されつつあります。

当社は、インドにおいて、2015年からベンチャーキャピタルとして活動を開始し、B2C分野中心に10社(非公表含む)のスタートアップ企業に投資を行ってまいりました。

本ファンドを通じてインドでの投資活動を更に加速し、日本企業とインド企業との事業機会の創出を促進し、本ファンドが日印のデジタルビジネスを創出するプラットフォームとなることを目指します。

特に、モバイルエンターテインメント分野では、本ファンド出資者である株式会社アカツキ(本社：東京都品川区、代表取締役 CEO：塩田元規、以下「アカツキ」)と連携し、投資活動を行ってまいります。

1) KPMG: “Venture Pulse Q4 2016 Report”

2) NASCOM: “Indian Startup Ecosystem – Traversing the maturity cycle”

3) CB Insight: “The Global Unicorn Club (2018年3月アクセス時点)”

4) 米国 Google、Apple、Facebook、Microsoft、Amazon、中国の Baidu、Alibaba と Tencent 等

■ 株式会社アカツキについて (<https://aktsk.jp/>)

アカツキは、人々が心の満足で満たされ、自発的に行動し世界が発展する『感情を報酬に発展する社会』の実現を夢見ております。主力となるモバイルゲーム事業においては、心が動くワクワク体験を届ける様々なゲームの開発・運営を行っております。また感動するリアルな体験を届けるライブエクスペリエンス事業をはじめとし、世界にワクワクとつながりをもたらす様々な事業を展開しております。

2. 概要

名称	DI インドデジタル投資組合（通称 DI インドデジタルファンド）	
所在地	東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 6 号	
設立根拠等	日本・民法に基づく任意組合	
組成目的	インドのスタートアップ企業への投資	
組成日	2018 年 4 月 20 日	
出資の総額	15 億円（今回の一次募集完了時点） 今後 1 年間の二次募集期間を設け、調達継続（最大 50 億円まで）	
出資者・出資比率（現時点）	1.株式会社ドリームインキュベータ 66.7% 2.株式会社アカツキ 33.3%	
業務執行組合員の概要	名称	DI 投資合同会社
	所在地	東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 6 号
	代表社員	株式会社ドリームインキュベータ
	事業内容	投資事業組合財産の運用、管理
	資本金	500 万円
上場会社(当社)と当該ファンドとの関係	上場会社と当該ファンドとの関係	当社から当該ファンドへ 10 億円を出資いたします。 なお、払込方式は、ファンドにとって必要な時期に資金を払い込む方式を取ります。
	上場会社と業務執行組合員との関係	当社 100% 子会社であります。また、当社の役員及び社員が DI 投資合同会社の職務執行者を兼任しております。
運用期間	10 年間	
投資対象	インドのテクノロジー領域のスタートアップ（モバイルエンターテインメント、フィンテック、ヘルステック、シェア経済、デジタルメディア等） シードからシリーズ B が主たる対象	

3. 日程

- (1) 取締役会決議日 2018 年 4 月 20 日
(2) ファンド組成にかかる契約締結日 2018 年 4 月 20 日

4. 今後の見通し

本件による当社の当連結会計年度の業績に与える影響は軽微であります。

5. その他 参考情報

■株式会社ドリームインキュベータ（DI）について：<http://www.dreamincubator.co.jp>

ドリームインキュベータは、戦略コンサルティングやビジネスプロデュース支援サービスなどのコンサルティング事業、および、インキュベーション事業を通じて、新たな事業や産業の創造・成長支援を行う「The Business Producing Company」。

<ご参考：DIのインド投資実績>

2016 年 2 月 [インド VC の Blume Ventures（ブルーム）のファンドへの出資](#)

2017 年 1 月 [インドのモバイルゲーム最大手 99Games への出資](#)

2017 年 10 月 [インド有数ブロックチェーン技術・ビットコイン企業 Unocoin Technologies への出資](#)

2017 年 10 月 [インドの中小企業向け決済サービス最大手の Instamojo に出資](#)

2017 年 11 月 [インドのチャットバンキングサービスの Active Intelligence に有力投資ファンドと共同投資](#)

2018 年 1 月 [インドの個人認証サービス最大手の Baldor Technology Private Limited に共同出資](#)

2018 年 2 月 [インドの健康管理アプリ最大手の HealthifyMe に出資](#)

以上